課室名	健康増進課

起案日	22年7月7日	決裁日	22年7月12日

課内		検討者					決裁者
担当者	起案責任者						健康福祉部長
竹井	課長 Tel						笠江
成人保健係長	補佐兼母子保健係長	意見					
		合議者					
						総務課長	生活環境課長
ファイリングマネージャー	公印						今村
		意見					
広報のべおかへの掲載		要・否		ホームページへの掲載		要・否	

件名：大貫中区における健康相談結果の裁判所への資料提出について

大貫中区の電波塔問題につきましては、現在「携帯電話基地局操業差止請求事件」として公判中ですが、今回宮崎地方裁判所延岡支部より、別紙のとおり調査嘱託書が届きましたので、このとおり関係書類を提出いたします。

記

1、調査事項

平成19年11月29日、30日、12月1日に大貫中区公民館で行った健康相談の概要、健康相談の具体的内容およびその結果について

2、回答方法　書面報告

3、市が今回提出する文書

（1）宮崎地方裁判所延岡支部宛かがみ

（2）回答内容

①健康相談の概要（資料①）

・大貫地区健康相談実施計画書

~~・健康相談開設に関する起案文書の写し~~

~~・健康相談票~~

~~・健康相談実施マニュアル及びQ&A~~

・区長宛依頼文書及び地区回覧用チラシ

②健康相談の具体的内容（資料②）

・相談者60名（男性24名、女性36名）全員の相談票の写し

＊相談票の名前・生年月日・住所（地番のみ）・世帯主は個人情報保護の観点から黒塗りし、個人が特定できないようにした。（裁判所の承諾済み）

③健康相談の結果（資料③）

・大貫中区健康相談実施報告

・自覚症状を訴える有症者45人についての検討

~~・報告に関する決裁文書の写し~~

4、その他の参考資料

（1）大貫中区電波塔問題の健康相談開設までの経過

（2）提訴記事（H. 21. 12. 8朝日新聞掲載）

平成22年7月15日
延健増　88　号

宮崎地方裁判所延岡支部
裁判所書記官　津田昭洋　様

延岡市健康増進課
課長　山部美津弘

平成21年（ワ）第446号　携帯電話基地局操業
差止請求事件に関する資料の提出について（回答）

標記の件につきまして別紙のとおり回答いたします。
ご不明な点がありましたら下記までご連絡ください。

【文書取扱】
延岡市健康福祉部健康増進課
電話　0982－22－7014
担当　竹井

今回送付する文書は下記のとおりです。

報告文書の内容

（1）健康相談の概要（資料①）

①大貫地区健康相談実施計画書

②区長宛依頼文書

③地区回覧用チラシ

（2）健康相談の具体的内容（資料②）

①相談者60名全員の相談票の写し

＊11／29、30、12／1の相談日別にまとめております。

＊相談票の名前・生年月日・住所（地番のみ）・世帯主は個人情報の保護の観点から特定できないようにいたしました。

（3）健康相談の結果（資料③）

①大貫中区健康相談実施報告

②自覚症状を訴える有症者45人についての検討

以上です。

大貫地区健康相談実施計画書

1、目的

健康被害を訴えている地区住民への健康相談を行うことにより、住民の健康状態を把握し、必要時助言を行うことを目的とする。

2、日程

平成19年11月29日（木）、30日（金）、12月1日（土）

午前9時30分～16時00分

3、会場

大貫中区公民館

＊相談者の利便性（居住地に近い）の観点から地域の公民館とする。

4、スタッフ

健康管理課保健師３～４名

相談者が多い場合は、健康管理課で待機中の保健師で対応する。

5、対象者

大貫地区住民　＊年齢、性別等は問わない。

6、周知方法

案内文書（別紙）を大貫中区の各世帯に回覧

＊組数：18組　世帯数：280世帯

11／16（金）　区長依頼

11／19（月）～25（日）　回覧期間

7、相談内容

健康相談及び血圧測定

＊発症時期、症状の内容及び経過・在宅で過ごす時間等について住民より聞き取り、健康状態の把握を行う。また必要に応じて助言を行う。

＊生活環境全般に関する相談については、生活環境課が窓口となり対応し、当日、体制を組む。

8、記録様式

健康相談票（別紙）

9、結果について

①症状の有無など数的な実態は把握するが、原因究明は行わない。

②医学的診断は行わない。

③個人の相談内容については、プライバシーに関わる守秘義務の観点から一切公表しない。

10、その他

延岡保健所と協議しながら実施する。

大貫中区住民の皆様へ

健康相談の実施について

今回、貴地区より健康相談の希望がありましたので、住民の皆様の健康管理に役立てていただくために、下記のとおり実施いたします。

“からだのことについて気になっていることがある”“運動や食事などの健康づくりに関することを知りたい”など、健康に関する疑問や相談がありましたらお気軽にご相談ください。

1 期　日　　平成19年11月29日(木)、30日(金)
12月1日(土)

2 受付時間　　9時30分から16時00分まで

3 場　所　　大貫中区公民館

4 相談内容　　保健師による健康相談及び血圧測定

＊上記の相談日程でご都合の悪い方は、健康管理センターで随時行っています健康相談をご利用ください。

※なお、健康に関する相談については健康管理課、その他に関する相談の窓口は生活環境課（２２－７００１）となります。

問い合せ先：延岡市　健康管理課
（TEL　22－7014）

健　康　相　談　票

相談件数　11 月 29 日　22件

11 月 30 日　23件

12 月　1 日　15件

総数　60 件

女性

議会報告資料　(H19・12・13)
区・団体への報告資料　(H19・12・14)
報道機関投げ込み資料　(H19・12・14)

別紙２

資料③

大貫中区健康相談実施報告

大貫中区において健康相談を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

１、日　　時　　平成 19 年 11 月 29 日（木）、30 日（金）、12 月１日（土）
　　午前９時 30 分から 16 時 00 分まで
２、会　　場　　大貫中区公民館
３、対象者　　大貫町中区住民外
４、内　　容　　血圧測定及び健康相談
　　＊ 相談については健康管理課保健師４名等で対応しました。

５、相談結果
　１）相談者数：６０名（男性２４名　女性３６名）
　２）相談内容
　　（１）一般的な健康相談に関する内容（血圧、高脂血症、肥満など）
　　① 相談者数：１５名
　　② 性　　別：男性３名　女性１２名
　　③ 地　　区：大貫中区：１２名、上区：２名、不明：１名
　　④ 年　　齢：10 代（１名）、50 代（２名）、60 代（５名）、70 代（５名）、80 代（２名）
　　（２）自覚症状のある健康相談に関する内容（耳なり、頭痛など）
　　①相談者数：４５名
　　②性　　別：男性２１名　女性２４名
　　③地　　区：大貫中区３６名、東大貫区：５名、下区：２名、不明：２名
　　④年　　齢：10 代（１名）、20 代（１名）、30 代（２名）、40 代（６名）、50 代（10 名）、
　　60 代（15 名）、70 代（７名）、80 代（３名）
　　⑤症　　状：《主な症状》
　　耳鳴り（３１名）、肩こり（１６名）、不眠（１４名）、頭痛（１１名）、
　　めまい（４名）、目の症状（４名）
　　《その他の症状》
　　背中から腰がピーンと張る、胃腸不良、首筋の痛み、疲労感、不快感、
　　眼圧の急な上昇、体重減少、足の指がギュッとなる、右顔面のピクピク、
　　右上腕痛、アレルギー、不安、胸痛、後頭部が重い、いらいら、食欲不振、
　　右側頭部の違和感、左耳の聞こえが悪い、背部痛、頭の表面にビリビリ感、
　　両耳の下部の痛み、入浴時に水が入った感じ、両耳に水が溜まった感じ、
　　両耳の中に泡音、手指がつる、鼻血、動悸、両足の痛み等
　　※症状は複数回答となっております。
　　⑥自覚症状を感じ始めた時期
　　・H18 年 10～12 月　２２名（48.9%）　・H19 年１～３月　８名（17.8%）
　　・H19 年４～６月　７名（15.6%）　・H19 年７月以降　６名（13.3%）
　　・不明　２名（4.4%）

自覚症状を訴える有症者45人についての検討

1. 年齢

10代（1名）、20代（1名）、30代（2名）、40代（6名）、50代（10名）、60代（15名）、70代（8名）、80代（2名）

2. 症状

【主な症状】

耳鳴り（３１件）、肩こり（１６件）、不眠（１４件）、頭痛（１１件）、めまい（４件）、目の症状（４件）　＊複数回答

【その他の症状】

背中から腰がピーンと張る、胃腸不良、首筋の痛み、疲労感、不快感、眼圧の急な上昇、体重減少、足の指がギュッとなる、右顔面のピクピク、右上腕痛、アレルギー、不安、胸痛、後頭部が重い、いらいら、食欲不振右側頭部の違和感、左耳の聞こえが悪い、背部痛、頭の表面にビリビリ感、両耳の下部の痛み、入浴時に水が入った感じ、両耳に水が溜まった感じ、両耳の中に泡音、手指がつる、鼻血、動悸、両足の痛み等

3. 発症時期

・H18年10～12月　２２名（48.9%）　・H19年１～３月　８名（17.8%）
・H19年４～６月　７名（15.6%）　・H19年７月以降　６名（13.3%）
・不明　２名（4.4%）

4. 症状全体の経過

・『改善』　２名（理由：自然治癒２名）　・『変化なし』　３１名
・『悪化』　１２名

＊症状の出現に対する訴えをみてみると、『自宅にいる時に症状が強い』は１３人『場所に関係なく症状あり』は６人、『日内変動あり』は２人である。

5. 対応方法

・受診済み　２４名
（うち、『治療中』：１４名、『経過観察中』：１名、『治癒』：０名、『治療中断』：４名　その他『異常なし』と言われた人：５名）
・市販の薬等で対応　２名　・『特になにもしていない』　１２名
・　その他（自分で工夫をしながら症状の軽減に努めている）　７名

6. その他の訴え

・以前、家の前に来ていた鳩が来なくなった。
・ステレオの音声の調子が悪くなった。
・テレビの映像の写りが悪くなった。
・　車のリモコン式の鍵が機能しなくなった(出北町くらいの距離に行くと作動する。)

大貫町電波塔問題経過

平成１８年　９月頃　大貫町のマンション屋上に携帯電話のアンテナ建設計画
（塔の高さが４ｍ以下のため、建築確認など不要）

10月1日 マンションオーナー宅に「中継塔を考える会」が建設中止の申し入れ

10月3日 区長がKDDIに説明会の開催を申し入れ

10月12日 区長から市に対し、中継塔の建設中止の要望書

10月16日 市がKDDIに対し、説明会を開催し、安全性について住民の理解を得るよう指導を行う。

10月18日 市が現地調査を実施
KDDIが地元説明会を実施（大貫公民館 住民約100名参加）

10月20日 地元で建設中止を求める署名活動が始まる。
（11月27日までに約4,000名が署名）

10月31日 KDDIに対し、区が建設反対の意見書提出

11月7日 区長が助役を訪れ、協力を依頼

11月27日 区が市長宛の陳情書を提出

11月28日 住民が健康被害を訴え始める

11月29日 市が、地元住民から署名簿が提出されたことを受け、KDDIに対し、地元住民への十分な説明と、誠意をもった対応を文書で依頼した。

平成１９年　1月19日 区が熊本の総務省電波管理局に署名簿を提出
※電波管理局は、業者に提出するものであると受け取りを拒否

2月14日 住民がKDDIに対して、電磁波で受けたという健康被害を説明

2月16日 市からもKDDIに対し、電磁波測定を依頼

2月27日 KDDIが電磁波測定
※総務省電波管理局も立会った

3月12日 住民がアパートオーナー宅にアンテナ撤去依頼

3月20日 KDDIが電磁波測定結果を区と市長に報告

3月22日 地区区長が福岡のKDDIに行きアンテナ撤去の申し入れ

※ 一部の期日・内容等については、住民からの資料及びKDDI資料等を参考にしています。

4月　区長交代　柘植区長から染矢区長

6月26日 地元区より市長に陳情

7月11日 市長名で文書発送（総務省九州通信局長、KDDI社長）

8月1日 地元有志から要望、苦情

KDDIから報告（市の質問に対して）

日新聞　第3種郵便物認可　西　(H21.12.8 朝日)

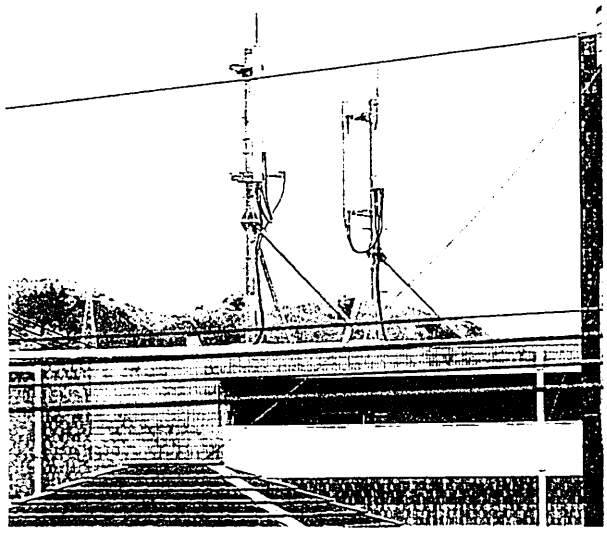
「KDDI電波で健康被害」
基地局差し止め 提訴へ
延岡 周辺住民ら30人

延岡市大貫町の住民が、携帯電話基地局からの電波で頭痛など健康被害を受けているとして、KDDI（本社・東京）を相手取り、基地局の操業差し止めを求める訴訟を今月16日にも宮崎地裁延岡支部へ起こす。原告は、基地局の半径400㍍以内の住民ら約30人にのぼる予定。

（松井望美）

電波9000倍検出も

提訴するのは、同地区で「大貫5丁目KDDI携帯基地局を撤去する会」を結成する住民ら。原告団の岡田澄太団長によると、基地局は2006年秋、3階建てマンションの屋上に設置され操業を始めた。



マンション屋上に設置された基地局の中継アンテナ。計3本が立っている＝延岡市大貫町5丁目

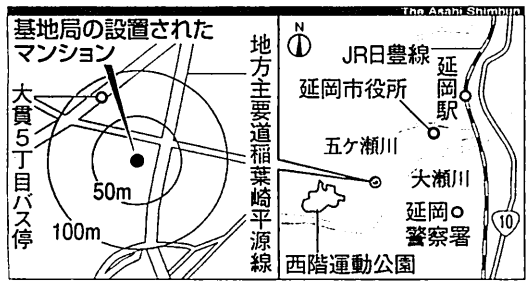
直後から頭痛や耳鳴りを訴える住民が周辺で現れ、同年11月末には基地局撤去を求める約4千人の署名を同市の首藤正治市長あてに提出。「撤去する会」として07年2月、KDDIに体調不良の住民が出たことを伝え、基地局の撤去を要請した。

これを受け、KDDI側が総務省九州総合通信局（熊本市）の担当者も交えて電波測定を実施。停波時に比べて約9千倍の電波が室内で検出された地点もあったが、KDDI側は「電波法で定める電波防護指針値を満たしている」として撤去要請に応じなかった。

市による同年11～12月の健康相談では周辺住民60人のうち45人が耳鳴りや頭痛を訴え、大半が基地局設置以降に自覚症状が出たという。住民側も独自に同年5月と08年7月の2回、アンケートによる健康調査を実施。それぞれ63人（回答104世帯中）、79人（同149世帯中）が耳鳴りや肩こり、不眠などの症状を訴えた。79人のうち、基地局の半径50㍍以内の居住が19人、100㍍以内が62人だった。

基地局近くに自宅などがあった岡田団長は、体調が優れないため設置後数カ月で約10㌔ほど離れた場所に自宅を移転。「基地局の近くにいると頭が痛くて息が詰まる。とにかく普通の暮らしができるように、1日でも早く撤去して欲しい」と話す。

KDDI広報室は「基地局設置については適正な対応をさせていただいている。裁判に関しては今後、訴状を見てから対応を検討する」としている。



九州の提訴8件

電波被害の問題に詳しい「中継塔問題を考える九州ネットワーク」（熊本市）の宮崎周事務局長によると、携帯電話基地局などの撤去を求める訴訟は、九州ですでに8件が提訴されている。いずれも一審では撤去が認められず、福岡高裁や最高裁で争われているという。

宮崎事務局長は「住民側が電波の健康被害をデータで示すのは難しい。国や自治体などが疫学調査をし、安全性に問題がないかをしっかり確認すべきだ」と主張する。

福岡や大分、宮崎の弁護士計26人でつくる今回の弁護団の亀井正照事務局長は「延岡のように実際に被害が出てからの訴訟は珍しい」と指摘。これまでは、基地局開設前の段階で住民が設置反対を訴えることが多かったという。

弁護団によると、フランスなど他国では基地局撤去や慰謝料の支払いを命じる判決も出ているといい、亀井事務局長は「国内での同問題に対する先例となるよう、救済に向けて取り組みたい」と話した。

■延岡市大貫町・携帯電話基地局問題の経過

2006年	11月	延岡市大貫町5丁目の3階建てマンションに設置された基地局の運用が始まる
	11月末	基地局撤去を求める約4千人分の署名を延岡市長に提出
07年	1月19日	住民5人が九州総合通信局（熊本市）に健康被害の訴えと撤去要請を陳情
	2月14日	岡田団長宅にKDDI担当者を招き、住民10人が体調不良を訴え、撤去を要請
	2月27日	九州総合通信局担当者の立ち会いのもと、KDDI側が岡田団長宅などで電波の数値を測定
	5月	住民によるアンケート形式の健康調査（第1回）を実施
	11～12月	市が同地区で健康相談を実施
08年	7月	住民によるアンケート形式の健康調査（第2回）を実施
09年	5月	原告団結成
	8月	弁護団5人が同地区を視察し、住民と意見交換

来年は色々トライ

三股・「紫麓窯」ぐい飲み

干支をかたどったぐい飲みづくりで知られる三股町の紫麓窯で、来年用の製作が始まっている。ユニークなネーミングでも毎年人気を集めていて、新作は「寅い」＝写真。経営者で名付け親の山下盛親さん(56)は「色々なことに挑戦し、良いことをつかみ取れる年にして欲しい」。

今回で15作目。12年前の「呑みタイガー」に続く新しい「寅」は白と黄色の2種で、高さ5㌢、直径7㌢ほど。長女の翔子さん(23)が初めてデザインを担当し、ふっくらと仕上げた。

1個2千円。問い合わせは同窯（0986・52・3603）へ。

三股町長 自ら減給案

東関部屋稽古

詐取されたカードで

って現金約100万円を引き出し、同13日には延岡市、数